

# ぼらんていあニュース

文京ボランティア支援センター 平成29年8月号

特集

## 地域と防災とボランティア



7月に九州地方で甚大な被害を出した九州豪雨。災害大国である日本において防災は大きなテーマですが、改めて防災の必要性を考えさせられました。普段から「防災」に力を入れている表町町会様に取材のご協力をいただき、平時からの取り組みや防災の考え、大切なことを伺いました。

## 防災フェスタ2017

社協もブース出展します！

日時 8月27日(日)午前10時～午後1時まで  
会場 区立窪町小学校

みんなで防災「見て、聞いて、試して、備えよう」をテーマに  
防災フェスタが開催されます！



② 特集 地域防災の最前線！表町町会 インタビュー

あなたと地域をつなぐ情報サイト

③ 災害ボランティアセンターって？ ④ 「どっとフミコム」

# 地域と防災とボランティア

## —すべてが「防災」につながっている— 表町町会

首都直下型地震が近い将来起きる可能性が高いと言われてます。  
地域の中でどのような準備をし、取り組んでいくのかを表町町会に取材してきました！



表町町会 森田会長

「防災に力を入れたきっかけは何ですか？」

森田さんが会長になった時の最初の主張が「防災に取り組もう、訓練をやるよ」というものでした。さらに大きなきっかけとなったのは3・11でした。翌日12日には予定通り防災訓練を行いました。

「避難所運営訓練のことについて教えていただけますか？」

平成27年に、避難所で過ごした経験のある人を気仙沼からよんで、体験を語ってもらいました。やはり避難所って最終手段だと思えます。まずは、自主防災、自分で自分の身を守ることが大切。それでも避難所に行かなくてはならなくなった時のために年2回の避難所運営訓練を行っています。その一環として礪川小学校の備蓄倉庫に何が入っているかを「見える化」しました。その後、倉庫の使い勝手を考えて収納をし直しました。大変だったけれど、とても意味のあることだと思います。

「気仙沼とのつながりについて教えていただけますか？」

町会で防災に取り組んでいくうちに、色々な人たちとのつながりができてきました。これまで気仙沼には行ったこともなかったけれど、支援を始めたらその関係者が自分でも



避難所運営訓練の様子  
(ポストイット方式の受付を徹底させています)



備蓄倉庫の「見える化」上空写真

忘れていたほど昔の知り合いにつながったり。今では年に2〜3回は行っています。

つながりを作って、それをつなぎとめること。大事なことだと思っています。他にも福島島の「味噌の里親プロジェクト」というものにも関わっています。こちらが支援しているはずが、それ以上のことを頂いている気がします。

防災からは少し外れますが、7月20日〜31日までラジオ体操を行っています。

気仙沼に支援をするために、ラジオ体操に出ると、ひとりにつき20円を町会から拠出するという仕組みです。早起きして、ラジオ体操をやって元気になるって、さらに被災地を助けようというものです。やり始めてから5年。最後の日に12日間皆勤の人には、防災グッズを差し上げています。



福島支援「味噌の里親プロジェクト」

「町会で行われているウォーキングについて教えてください。」

表町町会では、ほぼ毎月健康ウォーキングを行っています。これは、「もし外出先で被災し交通機関が止まっても、自分の足で歩いて家まで帰れるという自信をつけてほしい」と会長が発案しました。ただ歩くイベントではなく、防災につながる取り組みなのです。この他にもお祭りや文化祭などのイベントも住民同士の親睦を深め、結果それが防災に役立つと思っています。

「どのようなことが災害復興に大切だとお考えでしょうか？」

気仙沼を見ているもそうですが、もっと地元の人たちを活かす形でやってほしいです。確かに被災現場は、外の人の力を借りないと復興できない部分はあるけれど、地元の人たちが積極的に協力していくことが大切だと思います。

避難所運営と同時に、なるべく災害ボランティアセンターや地元の人たちがコラボするべきだと思います。それが一番の力、近道ではないでしょうか。そのためには、普段から社協も含め多方面の人たちとつながりをつくるのが大切なのだと思います。

# TOPICS 災害ボランティアセンターって？



災害時に設置される被災地での被災者支援のボランティア活動を円滑に進めるための拠点です。近年では、被害の大きな災害に見舞われたほとんどの被災地に立ち上げられ運営されています。被災し支援を必要とする人とボランティアをつなぐ機関です。

**もし文京区で災害が  
起こったら  
どこに？誰が設置？**

**文京区民センターに  
文京区社会福祉協議会が  
文京災害ボランティアセンターを設置します**

## ボランティア保険！

## 災害ボランティアに参加する前に確認！

災害ボランティアではケガなどの危険を伴う活動もあります。必ず活動前に加入をしましょう。



- 【窓口】最寄の社会福祉協議会
- 【補償内容】・傷害保険(ボランティア自身のケガ)・賠償責任保険(対象者の身体や財物等の損害)
- 【補償期間】4月1日～翌年3月31日まで ※途中加入の場合: 加入手続き日の翌日から適用
- 【保険料】プランによって異なる

## 気持ちの準備！

- ①相手の気持ちに寄り添って
- ②相手のペースで
- ③真剣かつ笑顔で
- ④無理はせず十分な休憩を

## 服装の準備！



**水害  
ボランティア  
作業  
マニュアル**

## 道具用途を確認！

**道具用途一覧**

- 丸スコップ** 固い土・指積した瓦
- 角スコップ** 床下の掘出し、道路や側溝などの平たい所
- ミニスコップ (コチ)** 家の中の細かい泥
- じょうろ・どうぐわ** 畑
- バケツ** ぞうろん・タオル洗い、取っ手が壊れるので入れすぎ注意
- 一輪車** 荷物・泥の運搬、水を入れるなど ※深いタイプがオススメ
- 土のう袋** 泥・細かいがれき・廃棄物を入れる ※重さを測るので6〜7割以上は入れない、水は時間経たてば抜けるので気にしない、ゴミを積み重ねると破れにくく、キレイ
- ボール (大・小)** 土壁落とし、家具の解体、床板はがし、割割の撤廃、テコがわり
- かけや** 土壁落とし
- のこぎり** 樹木などの撤廃、フローリングの床板はがし ※型枠用が木目用が便利
- デッキブラシ・たわし** 床板・窓ガラス・壁掃除
- 水切り** ※雑巾より便利
- モップ** 水切り・拭き掃除
- ほうき** 掃き掃除 ※室内用と屋外用と分けて使う
- 雑巾・タオル** 拭き掃除 ※普通タイプがなにより便利。大きいとカスツて不便
- スポンジ・歯ブラシ** 細かいところの掃除
- ちりとり** 水切りがわり、狭いところの掃除 ※割れにくい金属製がオススメ

**あると便利な道具たち**

- 左官用フネ** 機材・長靴の洗浄 ※異材対応で活躍
- 高圧洗浄機** 高いところの洗浄、道具の掃除 ※レンタルあり
- チェーンソー** 泥木・自壊家屋の処理 ※使い慣れている人のみ
- ブルーシート** 資材などの下に敷く ※資材の保管・塵埃抑制
- パワショベル** 荷物運搬・がれき除去、足など ※レンタルあり、必須、パワーツール0.1立方メートル
- フレコン (トン断)** 大量の泥 ※重量での回収が必要
- 軽トラック** 人・物の運搬 ※小回りが利いて狭い道でもOK、レンタルあり

**■安全と衛生 無理せず、ケガなく**

- 初期** まれに短期間で病気を起こす恐れあり。→1回着用のマスクやタオルでカバー
- 集中** 大量の汗や通気性の悪い服での作業・睡眠不足・お湯の飲み過ぎに注意！ →水分・塩分(水だけじゃダメ)・休憩
- 破損** 深い刺し傷に注意！ →ケガをしないように長袖・手袋・長靴・安全靴を装着する
- 活動機はうがい・手洗い!** 日に泥がよく入るので臭水があると便利。

発行: 特定非営利活動法人 レスキューストックヤード  
 出展: 社会福祉法人 全国社会福祉協議会  
 地域福祉部 / 全国ボランティア・市民活動振興センター

## 続編！ 地域と防災とボランティア

町会としてのその他取り組みや防災に対しての想いなど、ぼらんていあニュースには載りきらなかった部分を、後日「どっとファミコム」に掲載いたします！

QRコードで直接  
アクセスできます！



# あなたと地域をつなぐ情報サイト

まずは **どっとフミコム** で 検索



「どっとフミコム」とは文京区内で活動する団体の紹介や各イベント情報など区民の方たちがつながる、活動するための情報サイトです！  
ボランティアしたいけど何ができるの？  
区内にはどんな団体があるの？など地域活動に関する情報が多く載っています。

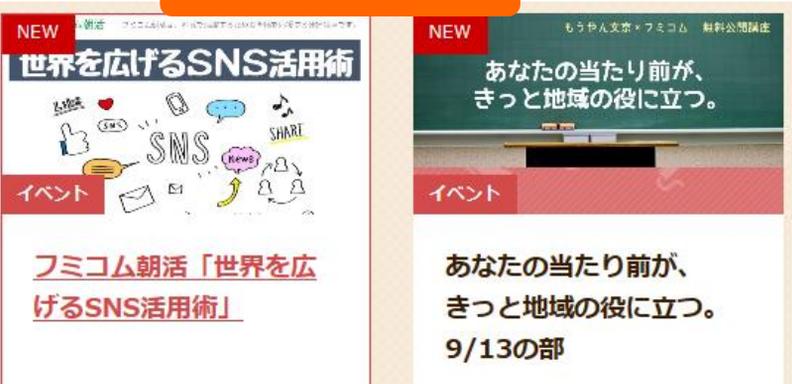
## ボランティア情報



## 団体紹介



## イベント情報



## お知らせ



どっとフミコムでは、ボランティア情報以外にも地域でのイベント情報やお知らせ、文京区内で活動されている団体の紹介など様々な情報を見ることができます！  
気になるイベント、お知らせ、団体などぜひチェックしてみてください！



QRコードで直接アクセスできます！

発行: 社会福祉法人 文京区社会福祉協議会 文京ボランティア支援センター  
〒113-0033 文京区本郷4-15-14 文京区民センター4階  
TEL 3812-3114 FAX 5800-2966  
開所日 月～金曜日(祝日年末年始除く) 窓口開所時間 8:30～17:15  
Eメール vorasen@bunsyakyo.or.jp  
ホームページ <http://www.bunsyakyo.or.jp>

